

高い生産技術が評価

県畜産総合共進会・肉用牛の部で2年連続総合優勝し、畜産王国「登米市」を印象付けました。布施孝尚市長（右から二人目）も応援に駆け付けました



▲県内から89頭の牛が出品された県畜産共進会（みやぎ総合畜産市場）

▲肉用牛の部で名誉賞に輝いた小野寺正人さんと自慢の牛

▲表彰式で団体賞のカップを受け取る登米和牛育種組合の高橋良組合長

県総合畜産共進会・肉豚の部 （有）ビッグ夢ファーム（豊里町） 農林水産大臣賞を受賞

県総合畜産共進会・肉豚の部で、農林水産大臣賞・県知事賞を受賞した有限会社ビッグ夢ファーム（佐々木章一代表取締役）。出品した豚の肉質が評価されての最高賞です。農林水産大臣賞の受賞は昨年に続き2年連続。これまで同共進会の大賞受賞は優に10回を超えるなど、その技術は折り紙つきです。

（有）ビッグ夢ファームは母豚約400頭を飼育する一貫経営で、従業員はパートを含めて7人。代表の佐々木さんは「今回の大臣賞受賞は、何より若い従業員たちの励みになります」と笑顔で話していました。



農林水産大臣賞の賞状を手に喜ぶ（有）ビッグ夢ファーム代表の佐々木さん

9月14日、美里町小牛田にあるみやぎ総合畜産市場で開催された平成25年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）で、登米地区が2年連続で団体賞を受賞するなど、登米市から出品した牛が数多く入賞しました。登米地区は同共進会・肉豚の部でも団体賞を受賞するなど、畜産における本市の高い生産技術が評価されました。各部門の入賞者は次のとおりです（敬称略）。

肉用牛の部

- ▼第1区（若雌の1・生後14〜17カ月未満）【最優秀賞1席】船島一芳（中田町）【最優秀賞2席】佐藤浩志（米山町）【最優秀賞4席】（有）N・O・A（高橋良代表・中田町）
- ▼第2区（若雌の2・生後17〜20カ月未満）【最優秀賞1席】小野寺正人（迫町）【最優秀賞2席】千葉啓克（迫町）
- ▼第3区（経産・経産牛）【最優秀賞1席】（有）N・O・A（中田町）
- ▼第4区（繁殖雌牛群・経産牛）【最優秀賞2席】登米和牛育種組合（鈴木敬浩・南方町、尾上正彦・米山町、服部泰啓・豊里町、千葉由香・米山町）
- ▼第5区（高等登録群・14カ月以上）【最優秀賞1席】登米和牛育種組合（有）N・O・A・中田町、服部泰啓・豊里町

肉豚の部

- ▼団体賞 登米地区
- ▼名賞賞【農林水産大臣賞・県知事賞】（有）ビッグ夢ファーム（佐々木章一代表・豊里町）
- ▼名賞賞【生産局長賞】伊藤範義（迫町）
- ▼第1区【最優秀賞・東北農政局長賞】佐々木昭（迫町）
- ▼第2区【最優秀賞】佐々木昭（迫町）
- ▼団体賞 登米地区
- ▼名賞賞【農林水産省生産局長賞】（第2区若雌の2）小野寺正人（迫町）
- ▼東北農政局長賞（第5区高等登録群）登米和牛育種組合

仮想「全共」と位置付け臨む 県全体のレベルアップが必要

平成29年に宮城県で開催される「全共（全国和牛能力共進会）」に向けて、今年（有）宮城県総合畜産共進会）は仮想全共と位置付けていました。



登米和牛育種組合 高橋良 組合長

今回は新たな取り組みとして、出品する牛を集めて栄養度の確認や毛刈り、整列の訓練などを行う調教指導会を実施してから県共に臨みました。その成果もあり、各部門で最優秀賞に選ばれ、団体総合優勝という、うれしい成績を残すことができました。

宮城全共で宮城県が上位を狙うためには、登米市だけでなく県内全体でのレベルアップが必要だと感じています。まずは登米市がリーダーシップを取れるよう、今後に向けて一つ一つがんばっていきたく考えています。